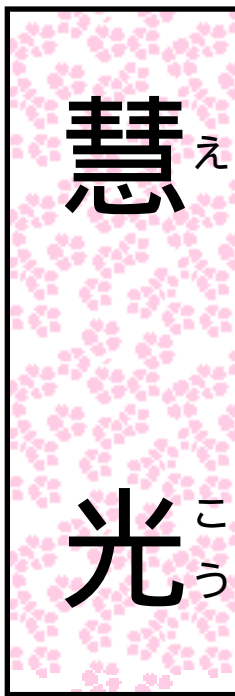




いずれがアヤマか杜若 (中学時代理科で教わりました)



金光寺寺報
第167号
発行所 金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
5927番地
0982
83-2338

今月のことば

わしひとりをめあての本願のありがたさ

今月の言葉は花岡大学師(1909~1988)の『妙好人 清九郎』からの言葉です。大和の清九郎ならばこのように言うであろうとして花岡師から出た言葉です。視点を変えますと、花岡師がこの言葉のように本願を感じておられたと理解できます。

『無量寿経』には、法蔵菩薩が迷いの衆生を救いたいとして、二百一十億の浄土を見、五劫という極めて長い間、思惟して四十八の願いを建て、兆載永劫にわたってあらゆる修行をして、阿弥陀仏になられたとあります。その四十八願の根本の願が本願です。いかに立派な浄土でも誰ひとり往生できなければ、意味がありません。私たちの往生浄土を誓われた願がまさに根本の願です。本願は四十八願の第十八番目にありますので、第十八願ともいいます。その内容は十方衆生(あらゆる人々)を信心一つで浄

土に往生させて、仏のさとりを得させたいというものです。

もしその本願が友人、知人のために建てられ、私も友人同様に罪悪深重であるから、友人が救われたら私も救われるだろうと受け止めたとしても、その本願は依り所にはなりにくくもあり、それほどありがたくは感じることはできません。もっとも、友人と同様に私も罪悪深重だということは、自分自身をまじめに見つめる人には先ずあり得ないことです。私のような愚悪の凡夫にまではたらきかけて、「あなたが信心一つで往生しなければ、私は仏のさとりを開かない」と誓っていただいたと受けとめられたときに、阿弥陀仏が依り所になり、ありがたくも頼もしくも感じられます。

(本願寺出版社刊「大乘」誌より転載)

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き、仏事は行いません。ご協力をお願いします。

5月 21日(木) 終日
6月 14日(日) 終日

昨年、波島小高岩雄さんからご紹介いただいたポールの花を間違えて掲載しました。今年も咲いたと連絡をいただき、撮影しましたので改めて掲載します。



4月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。

2015年 4月17日寂 満81歳
本屋敷 熊川 忠 様
2015年 4月25日寂 満79歳
東光寺 興 相 信 義 様

ホームページ開いています。
URL <http://konkhoji.jp/>
5月7日現在 アクセス数 75,716人

ひと月があつという間に過ぎました。寺報編集が終わりにこの欄を書く時はほつとした思いになります。しかし、すぐにまた寺報編集で思い悩む月初めがくるんですよ。本当にひと月過ぎるのが早い! しかし、ひと月、一年があつという間に過ぎているのに年齢をとっているという自覚があまりありません。若い頃の写真を見て、ふさふさしい髪の毛の自分に驚いてしまいました。黒い髪が自分には驚いてしまいました。代があつたんだな! と思いつく、加齢を実感します。先月、高校三年のクラス会がありました。四十年ぶりに会った同級生とお互い顔を見合い、「えーっ」と誰だっけ」と心の中で一生懸命思い出そうとするのですが、名前が浮かびません。それほど、高校時代の姿からするとお互いに大きく変貌してしまいました。でも、あつという間に気が持ちは高校時代に逆戻り。昔話をしながら、また、元気で会おうね」と言葉が交わりました。再会時にはすぐに思いだしてもらえようダイエツトを誓ったことでした。(住職 松井卓郎)

住職ひとりごと

仏教用語豆辞典

世智辛い

「近年は人の心世智辛くなりてより」(吉原雑和)
「世智辛い」は計算高い、小賢しい、抜け目がないなどの意味です。
「世智辛い世の中だ」とは、人々が打算的になって、世渡り

がしにくくなることをいいます。この「世智」が仏教語です。世智は「世間智」ともいい、俗世間の凡夫の知恵のことです。そこから、世才、俗才、世渡りの才能の意味となつていきました。
世渡りの才能とは、要するに、抜け目がなくて、勘定高いことにほかなりませんから、現在使われているような意味となつたのでしよう。
世智賢い、世智にたけている、という語句も同じ意味です。
仏教では八難が説かれていま

す。仏を見ることができず、法を聞くことができない境界が八種あるというのです。その一つに「世智弁聰」があります。これは世俗にたけて、仏の正法を信じられない人のことです。
あまり世渡りのことばかりにうつつを抜かしていると、大切なことを見のがしてしまいます。
(本願寺出版社発行 辻本敬順著
「仏教用語豆辞典」一〇〇ページから)

本願力にあひぬれば

天候不順の四月上・中旬でしたが、四月下旬から五月に入り好天に恵まれ、当山周辺でも一気に田植えの準備が進んでいます。カエルの鳴き声が聞こえ始めるのももうすぐですね。

境内もつつじやえびね蘭、紫蘭、白蘭、アヤメ、手まりなどの花が咲き誇り、私たちや参詣の皆さんの目を愛でてくれます。

二〇一五(平成二十七年)年に入り、五月七日の時点ですでに十人のご門徒さまがお亡くなりになりました。昨年は五月終了の時点で九人お亡くなりでしたので、昨年を上回っています。

今年お別れをした方々、そ

れぞれ尊いお導き、教えをいただきましたが、四月二十五日と五月一日にお亡くなりになられた方は特に私たちの命は「はかないもの・まぼろしのようなもの」であることを如実に教えてくださいました。お二人ともお亡くなりになられる直前までお仕事をされていましたが、突然、お体に変調をきたされ娑婆の縁尽きてご往生なさいました。

蓮如上人は「御文章」「白骨章」に

それ、人間の浮生なる相をつらつら観するに、おほよそはかなきものはこの世の始中終、まぼろしのことくなる一期なり。

(中略)

されば人間のはかなきことは老少不定のさかひなれば、たれの人もはやく後生の一



と、私たちの命はまぼろしのようなもの、私たちの命はかないことは年をとっているとか若いとかは関係ないとお示しにいられています。

お葬式の後の還骨法要で何度も拝読し、我が耳で何度も聞いている「白骨章」なのですが、命はかなきは老少不定であることを人ごととしてしか

大事を心にかけ、阿彌陀仏とふかくたのみま申すべきものなり。

しかし、そんなさだめの私たちの身を案じてくださる阿彌陀さまのお慈悲を親鸞聖人は「高僧和讃」「天親讃」に本願力にあひぬれば

むなしくすぐるひとぞなき
功徳の宝海みちみちて
煩惱の濁水へだてなし

と、阿彌陀さまの本願力に出遇えたらむなしく過ぎていく人はいませんよ、阿彌陀さまの功徳は宝の海のごとく私たちの身にみちて、煩惱に汚れた水にどっぷり浸かっているもへだてられることなく、必ずお浄土に救い、さとり智慧を与えてくださることをお示しにいられています。

突然のご往生でしたが、本願力に遇い、むなしく過ぎることない念仏、無礙の一道の人生であったことでしょう。

法語の世界

〈原文〉
ある人はいはく、前々住上人(蓮如)の御時、南殿とやらんにて、人、蜂を殺し候ふに、思ひよらず念仏申され候ふ。その時なにと申うて念仏をば申したると仰せられ候へば、ただかはいやと存するばかりにて申し候ふと申されければ、仰せられ候ふは、信のうへは、なにともあれ、念仏申すは報謝の義と存すべし。みな仏恩になると仰せられ候ふ。

(蓮如上人御一代記聞書 百八十)

〈現代語訳〉
「蓮如上人がご存命のころ、山科本願寺の南殿であつたでしょうか、ある人が蜂を殺してしまつて、思わず念仏を称えました。そのとき、上人が、あなたは今どんな思いで念仏を称えたのかと、お尋ねになつたところ、その人は、かわいそうなことだと、ただそれだけを思つて称えましたと答えました。すると上人は、信心をいただいた上は、どのようなであつても、念仏を称えるのは仏恩報謝の意味であると思ひなさい。信心をいただいた上での念仏は、すべて仏恩報謝になるのである」と仰せになりました」と、このようなことを伝えた人がいました。

5月の二十四節気と七十二候

- 立夏(りっか・5月6日)
さわやかな五月晴れの空に、こいのぼりが気持ちよさそうに泳ぐ。
蛙始鳴(かわずはじめてなく・初候・5月6日~10日頃)
春先に冬眠から目覚めた蛙がウォーミングアップを終え、元気に活動し始める頃。
蚯蚓出(みみずいでる・次候・5月11日~15日頃)
冬眠していたミミズが土の中から出てくる頃。
竹笋生(たけのこしょうず・末候・5月16日~20日頃)
筍がひょっこり顔を出す頃。
- 小満(しょうまん・5月21日)
あらゆる生命が満ち満ちていく時期のこと。
蚕起食桑(かいこおきてくわをはむ・初候・5月21日~25日頃)
蚕が、桑の葉をたくさん食べて成長する頃。
紅花榮(べにはなさかう・次候・5月26日~31日頃)
あたり一面に紅花が咲く頃。
麦秋至(むぎのあきいたる・末候・6月1日~5日頃)
麦が熟し、たっぷりと金色の穂をつける頃。

第36回 高千穂組 仏教女性の集い(案内)

- とき 平成27年6月14日(日)
午前8時30分から受付
- ところ 高千穂町自然休養村管理センター
- 講師 鹿児島教区善福寺住職
浄土真宗本願寺派布教使
長 倉伯博 師
- 法題 「ベッドサイドに僧侶が
いる風景」
~緩和ケアに参加している
僧侶の経験から~
- 参加費 1300円(資料・昼食代)
- 持参品 念珠・経本・門徒式章・お茶
- 担当寺 三田井 浄光寺
- その他 参加希望の仏教婦人会会員の
方は地区連絡員に参加費を添えて
お申し込みください。